

# カンタンご使用ガイド A

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。

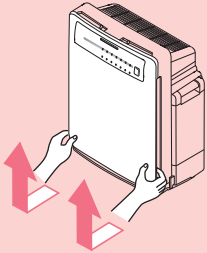
→ P.00 このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

## 運転前の準備

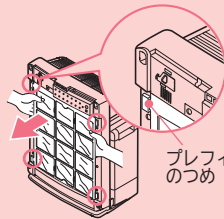
### 1 フィルターを本体にセットする

→ P.8

#### 1 パネル、プレフィルターを取り外す

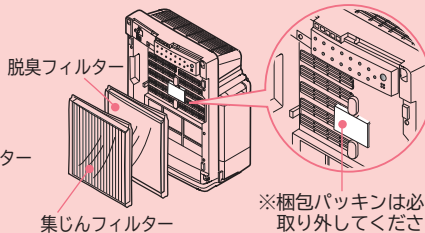


パネルの下側(2か所)に指をかけ、ゆっくり手前に引き、上方に少しずらすと、外れます。



プレフィルターのつめ(4か所)を本体から外し、取り外します。

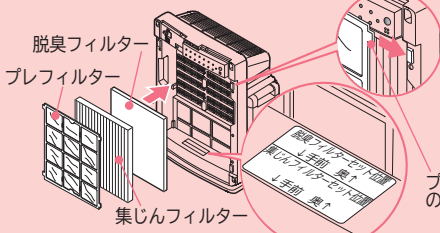
#### 2 フィルターを取り外す (集じん用と脱臭用があります)



● 集じんフィルター、脱臭フィルターをポリ袋から取り出します。  
● 梱包パッキンを取り外します。

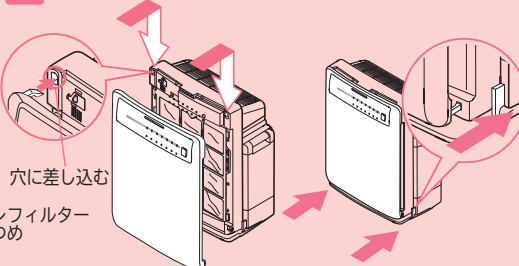
※梱包パッキンは必ず取り外してください。

#### 3 脱臭フィルター、集じんフィルター、プレフィルターを取り付ける



● ラベル(脱臭フィルター位置、集じんフィルター位置)がかくれるようにフィルター(集じん・脱臭)をセットします。  
● プレフィルターを本体に取り付けます。

#### 4 パネルを本体に取り付ける



パネル上側のつめ(2か所)を本体の穴に差し込みます。

パネル下部を静かに押して音がするまで確実に閉じてください。

● ポリ袋に入れたままフィルターをセットしても清浄効果は得られません。また、故障の原因になります。

● タンクキャップ中央のピンを押したときに、バネで戻ることを確認してください。  
● タンクキャップを確実に閉め、こぼれた水をふき取り、水漏れがないことを確認してください。  
● 水タンクは、カチツと音がするまで確実に押し込んでください。取り付けが不十分な場合、水タンクが転倒したり、水漏れる恐れがあります。  
● 水タンクのハンドルに水がたまっている場合は、ふき取ってください。  
● 水タンクや水トレイに水が入っていると加湿機能が働きます。加湿を必要としない場合は、水タンクや水トレイに水を入れないで運転してください。

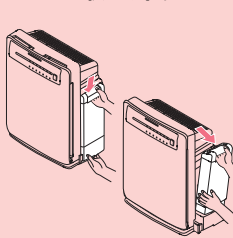
### 2 リモコンに電池を入れる

→ P.9

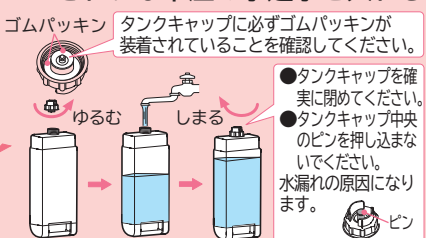
### 3 水タンクに水を入れる

→ P.10

#### 1 水タンクを静かに取り外す



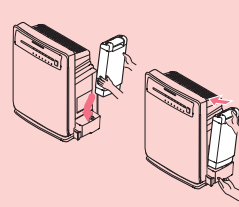
#### 2 タンクキャップを外し、きれいな常温の水道水を入れる



ゴムパッキン タンクキャップに必ずゴムパッキンが装着されていることを確認してください。

● タンクキャップを確実に閉めてください。  
● タンクキャップ中央のピンを押し込まないでください。水漏れの原因になります。

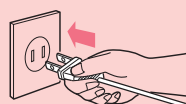
#### 3 本体の水タンク収納部に水タンクをセットする



## 運転を始める

### 1 プラグをコンセントに差し込む

→ P.11



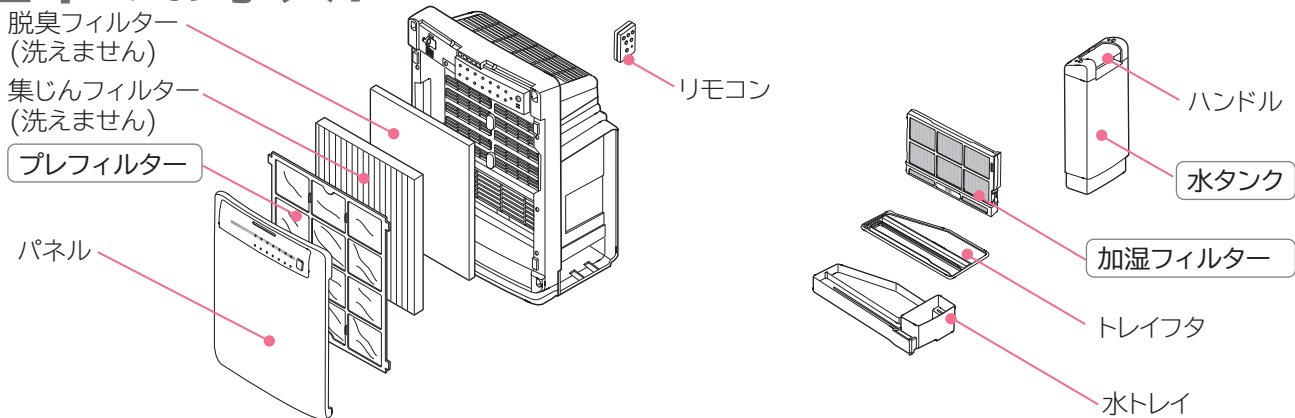
2 リモコンの **○** を押す 運転/停止 停止する場合は、運転中に **○** を押す

→ P.11

● 最初の3分間はお部屋の空気の状態を調べて記憶します。その間「クリーンレベル」と「湿度モニター 50」が点滅します。  
● お部屋の空気が汚れていると、クリーンレベルが緑色点滅になりますが、異常ではありません。

→ P.11, 15

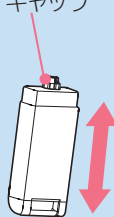
# 基本のお手入れ



## 水タンク (毎日)

→ P.20

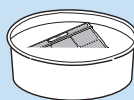
タンク  
キャップ



- 1日1回は必ず新しい水道水に交換してください。
- 水タンクに水が残っている場合は、排水します。
- 水道水を少量入れ、タンクキャップをしっかり閉めて、振り洗いをします。(水を入れ換えて2~3回)

## 加湿フィルター (約1ヶ月に1回以上)

→ P.20



- ケースから外さないでください。
- 水、ぬるま湯または台所用中性洗剤を溶かした水に、30分以上つけおき洗いをします。
- 新しい水に入れ換え、加湿フィルターをゆすりながらすすぎ洗いをします。(2~3回繰り返します)
- 軽く振って水を切ります。(水がたたり落ちない程度)

水あかが落ちにくいときはクエン酸をご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

## プレフィルター、集じん・脱臭フィルター (お手入れの目安: 約1ヶ月に1回)

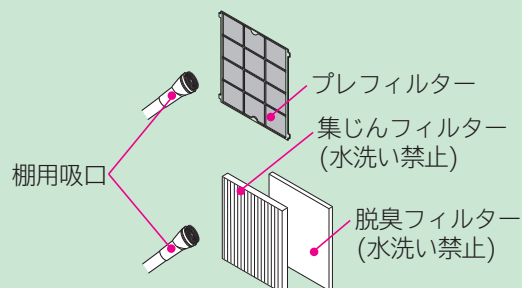
→ P.23

### ■プレフィルター

- 掃除機などでほこりを取り除き、汚れがひどい場合は水洗いしてください。水洗いのあとは、十分に水を切って、日のあたらない風通しのよい場所で乾燥させてください。
- 水洗いの際は、毛先のやわらかい歯ブラシなどで洗ってください。

### ■集じん・脱臭フィルター

- 集じんフィルター、脱臭フィルターのほこりが気になる場合は、掃除機などで取り除いてください。
- ※集じん・脱臭フィルターは、水洗いできません。



- 加湿フィルター、プレフィルターは消耗品です。破損したときは販売店でお買い求めください。

# 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次の点および取扱説明書「故障かなと思ったら」をもう一度お調べください。

症状	点検するところ	直しかた
加湿しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水タンクに水が入ってますか。</li> <li>●「空清」、「花粉」の運転モードになっていませんか。</li> <li>●加湿フィルターが汚れていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水タンクに水を入れてください。</li> <li>●運転モードを「加湿」、「肌保湿」にしてください。</li> <li>●加湿フィルターを清掃または交換してください。</li> </ul>
お手入れランプが消えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際にリセットボタンを押しましたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リセットボタンを押してください。 → P.19</li> </ul>
空気がよごれているのに風量が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風量を切り替えていませんか。</li> <li>●二オイセンサー部の穴がほこりや障害物でふさがっていませんか。</li> <li>●センサー感度を低くしていませんか。</li> <li>●電源プラグをコンセントに差し込むとき、周囲の空気がきれいな状態でしたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風量ボタンを押して、自動または他の風量を選んでください。</li> <li>●お手入れをしてください。</li> <li>●センサーの感度を切り替えてください。</li> <li>●風量の切り替えを行ってください。または、窓を開けるなどして周囲の空気がきれいな状態のときに電源プラグをコンセントに差し込んでください。</li> </ul>
「加湿」で運転しても加湿量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風量は「風量自動」になっていますか。</li> <li>●プレフィルターやフィルターにほこりなどの汚れが付着していませんか。</li> <li>●加湿フィルターが正しくセットされていますか。または、汚れていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設置場所や使用環境により、水が減らない場合があります。運転モードを「肌保湿」にして、風量を「強」または「ターボ」にしてください。</li> <li>●プレフィルターを清掃してください。</li> <li>●加湿フィルターを正しくセットしてください。汚れているときは、お手入れまたは交換してください。</li> </ul>